

## 第15回 奥むさし駅伝競走大会

### 【出場結果】

実施日 : 1月29日(日)

場所 : 東飯能駅西口前～西吾野駅前折返し～飯能市内銀座通り(きもの処かきめま前)

総距離 : 6区間 38.5km チーム成績 : 1時間59分23秒 12/140 12位

出場者・リザルト	1区	9.8km	平塚 祐三	7/140位	30分00秒
	2区	5.4km	佐野 雅治	15/140位	17分18秒
	3区	4.3km	八木沢直也	12/140位	13分26秒
	4区	4.5km	松谷 公晴	21/140位	13分56秒
	5区	5.2km	石原 洸	2/140位	15分06秒
	6区	9.3km	小原 大輔	23/140位	29分37秒

### 【レポート】

当日は快晴で風もなく、駅伝には絶好の条件となり、一般の部140チームが東飯能駅前から一斉にスタートしました。

昨年から好調を維持する平塚を1区に配置し上位順位での禪渡し期待しましたが、箱根駅伝でも活躍した駿河台大学の平賀選手、武蔵野学院大の外国人選手が先導するハイペースについていけず、後半は粘りの走りをしましたが、トップ駿河台大とは55秒差の7位で2区へ。



1区 平塚選手

2区は、中盤から上りが続くコースとなりますが、新人の佐野を起用しました。11月の東日本実業団駅伝後から脚の状態が思わしくない中でしたが、故障ギリギリの調整で駅伝の出場に間に合わせました。強豪選手が集まる2区では本来の躍動感のある走りが出来ずに順位を3つ下げ10位で3区に櫛を繋ぎました。



2区 佐野選手

3区は、西吾野に向かって更に上っていくコースで、4.3kmの短い距離ながら上りの強さとともにスピードが求められます。登りに強く、駅伝では着実に結果を残す八木沢を配置しました。八木沢も今年度は夏前からの故障が長引き、2か月前にようやく走り出した状態で苦戦も予想されましたが、リズムの良い走りで、順位は一つ下げたものの11位で4区へ。



3区 八木沢選手

4区は西吾野を折り返して復路に変わりレースも中盤に移ります。ここは距離も短い下りコースで、スピード勝負の区間です。昨年同様に松谷を起用し持前のスピードを発揮して欲しかったのですが、終始リズムに乗れず順位を1つ下げ12位で5区へ。



5区 松谷選手

5区は吾野から東吾野へと下るコースですが毎年順位変動の多い区間となります。2月末に東京マラソンを控える石原を配置しました。マラソン練習の中で、スピード区間を担うは難しい状況の中でしたが、安定感抜群の走りで2つ順位を上げ10位となり最終6区へ。



5区 石原選手

6区は、大会2番目に距離の長い最終区間で、激しい下りを攻略し、勢いそのままに飯能銀座通りのゴールを目指します。今年の6区は今後の成長も期待し3年目の小原を起用しました。積極的に飛ばしていきましたが、後半の失速が欠き2つ順位を落とし12位の順位でゴールしました。



6区 小原選手



#### 【総括】

今大会は、故障上がりの選手も起用せざるを得ない厳しい台所事情の中、地元の大会という事でチーム一丸となって戦いましたが、最後まで勢いに乗ることが出来ず入賞を逃す結果となりました。今回の結果は現状のチーム力として受け止め、次戦では良いご報告が出来る様、トレーニングに励んで参ります。

次週2月5日(日)には埼玉県駅伝が開催されますので、駅伝シーズンを良い形で締めくくれるよう、奥むさし駅伝の内容と結果を踏まえ最善の準備をして参ります。

最後になりましたが、当日早朝から沿道に駆け付けていただきました鈴木社長をはじめとする役員の皆様、会社関係者の皆様、本大会の役員としてご尽力いただいた会社関係者の皆様に、あらためましてチーム一同御礼申し上げます。

今後もチーム一丸となって、精一杯活動して参りますので、引続きまして、ご声援賜いますよう宜しくお願い致します。有難う御座いました。

以 上